



株式会社 ファルマ

弘前市北横町 19-1
Tel 0172-37-6016(代)

発行：編集委員会
印刷：小野印刷

■ 第 172 号 ■



藤代薬局



弘前調剤センター

全ての命が大切にされる社会・国民の暮らしを守る政治へ

ファルマ弘前薬局 中西 茉季



ファルマ弘前薬局



ファルマ浪岡薬局



ZOOM で参加した中西さんと三上さん



ファルマ ーツ谷薬局 (事務)



ファルマ ーツ谷薬局 (薬剤師)

10月20日(木)に「#いのちまもる医療・社会保障を立て直せ! 10・20総行動」に参加しました。現地では、3年ぶりに銀座パレードが行われました。



居宅介護支援事業所 ファルマ



黒石薬局

の基地問題について面白く分かりやすくお話しして下さいました。基地周辺では、ヘリの騒音やヘリの落下が頻発し不発弾が発見されるなど沖縄の現状を教えてくださいました。



本部

医療・介護・保育・福祉それぞれの立場からの切実な訴えを YouTube からでしたが直接聞くことができ、全ての命が大切にされる社会・国民の暮らしを守る政治に転換できるように民医連職員として行動し、地域に貢献できるように頑張りたいと思いました。



ファルマ ーツ谷 薬局 局長 佐藤 真由美

継続的に活動続けることを確認 オンライン決起集会

10月5日(水)「9条改憲阻止・憲法改悪を許さない! オンライン決起集会」が開催され、全国から日本が絶対に戦争に巻き込まれないための意思の表れ」とお話を下さいました。

世論は参院選の投票で最も重視したのは「物価高対策・経済対策」が多く、改憲はごく少数です。決起集会では、東京都立大学教授の木村草太氏による「憲法をめぐる動き、改めて憲法の大切さについて」講演を拝聴しました。国家権力の3大失敗(戦争、人権侵害、独裁)の教訓から私たちの日本国憲法ができました。改憲議論が活発化しています。憲法9条は日本の宝であり、何としても改憲阻止しなくてはなりません。全国各地で奮闘する仲間を取り組み報告を共有し、運動を広げるため今後も継続的に活動していくことを改めて確認した集会成为りました。

民医連の多くの仲間が参加しました。先の参院選で改憲に前向きな自民党、公明党、日本維新の会、国民民主党の「改憲勢力」4党が、国民投票にかけるための改憲案発議に必要な3分の2以上の議席を維持しました。衆院でも改憲勢力の議席が上回っており、岸田首相は「できる限り早く発議に至る取り組みを進める」と表明しています。しかし、世論は参院選の投票で最も重視したのは「物価高対策・経済対策」が多く、改憲はごく少数です。決起集会では、東京都立大学教授の木村草太氏による「憲法をめぐる動き、改めて憲法の大切さについて」講演を拝聴しました。国家権力の3大失敗(戦争、人権侵害、独裁)の教訓から私たちの日本国憲法ができました。改憲議論が活発化しています。憲法9条は日本の宝であり、何としても改憲阻止しなくてはなりません。全国各地で奮闘する仲間を取り組み報告を共有し、運動を広げるため今後も継続的に活動していくことを改めて確認した集会成为りました。

2022年度上半期管理者会議合宿

取締役薬剤部長・ファルマ弘前薬局 薬局長 相馬 渉

11月5日(土)2022年度ファルマ上半期管理者合宿が行われました。

2022年度上半期経営分析と薬局をめぐる情勢、今後の薬局のあり方

に関する問題提起、「処方箋獲得および事業収益拡大に向けた戦略」のテーマでホワイトボードミーティングを行いました。

その他医療整備の課題・薬局機能・薬剤師資格に関する件、ガバナンス・内部統制・後継者対策など幅広い



上半期管理者合宿の様子

い内容で議論できました。どれもとても大切な内容で、限られた時間ではありましたが、管理者みんなの問題を共有できるいい機会となりました。

薬局経営は、今後ますます厳しい状況になる中、対人業務の更なる充実の対応の検討、ICT化をいかにファルマ内で進め活用

していくか、そして、健康サポート薬局、地域連携薬局に認定されていますが、まだまだ一般には認知さ

れていません。

もっと地域に情報発信することが求められています。

地域の中でなくてはならない薬局になるためには、患者様に満足のいくサービスができるように工夫していく必要があります。

管理者でいろいろ議論して今後方針や、目指すべき方向性を一致させて、今後協力して頑張っていくことを確認できる合宿となりました。

いのちと健康を守る「調剤処方費助成事業」

ファルマ弘前薬局 主任補佐 工藤 由希子

10月31日(月)弘前市役

所で津軽保健生活協同組合主催の生活保護障害者

加算及び保険薬局の無料低額診療事業利用者の自己負担の減免に関する懇

談会が行われました。私はファルマ弘前薬局の相馬

取締役薬剤部長、工藤事務長と一緒に参加いたしました。

今回は2つの議題について意見交換をし、工藤事務長は「調剤処方費助成事業」について話されました。社会福祉法で定められている「生活困難な方が経

済的な理由によって必要な医療を受ける機会が制限されることのないよう、無料または低額な料金で診療を行う事業(無低診)です。この法律は院内処方

が当然の時代につくられたことから、医薬分業が当たり前の今日で保険薬局は無料低額診療事業の対象事業所にされてい

ません。したがって、無料低額診療事業の医療機関を受診された患者様のお薬代はその対象になっていません。

薬局にいらっしゃる患者様の中には「分割で支払いたい」「年金支給日まで支払いを待って欲しい」「薬を間引いて服用している」といった支払い困難事例が多数発生しています。法改正により保険薬局が無料低額診療事業の対象となるまでの期間、経済的な理由

によってお薬代の自己負担が払えない方に対し弘前市における「調剤処方費助成事業」を認め

いのち優先の社会に生きる人々のために

本部 事務長 館田 総子

10月21日(金)全日本民医連が主催した第45期社

保委員長オンライン会議に参加しました。全国から124名が参加し、朝から夕方まで3部構成で進

行しました。

1部は全日本民医連社保運動・政策部長の柳原深志医師から、「いのち優先の社会」をめざす社保運動の重点について問題提起がありました。

続いて指定報告は、高齢者医療費2倍化阻止の取り組み、無料低額診療などたいへん興味深い報告が7県連からありました。

45期の社保運動は、改憲阻止、軍事大国化反対、人権としての社会保障構築の3つの分野があります。

とりわけ社保委員は「常に一体の課題として捉え」自信をもって提起すること、いかにして多くの人々を

巻き込むかということ、職場では役職者が責任をもって教育することが大切であることを再認識しました。

2部は佛教大学の岡崎祐司教授より、岸田政権の新自由主義改革と2022骨太方針と題した情勢講演がありました。

国によるデジタル改革『DX』(デジタルトランスフォーメーション)の狙い

は、国が市民を統制・監視・行動管理・支配することです。

情報管理が市場化される中で、私たちは「たかいたか」対応の議論が必要になると思いました。

3部は分散会で意見交流し全体会で総括し閉会しました。

いのち優先の社会に生きる人々のため、そして自分のために、選挙で政治をか



ZOOMで参加した館田事務長



弘前市との懇談の様子

ていただきたいと強く訴えました。私たちは地域の方々のいのちと健康を守るために患者様、そして地域の方々の声をしっかりと自治体に届けていきます。

After 311 脱原発弘前映画祭

ファルマ弘前薬局 主任補佐 工藤 由希子



弘前映画祭の会場の様子

10月9日(日) 弘前岩木文化センターホールで第19回 after 311 脱原発弘前映画祭が開催され、「発酵する民」の上映と、福井地裁で2014年に関西電力大飯原発の運転を差し止める判決を言い渡した元裁判長の樋口英明氏より「私が原発をとめた理由」本当は誰にでも分かる原発差し止裁判」

「発酵する民」の映画は、鎌倉で2011年に脱原発パレードで歩いた女性たちが「イマジン盆踊り部」を結成し、お酒や味噌、パンづくりから生まれた「発酵盆唄」で人びとをつなげ、平和の輪を描いていくドキュメンタリーです。人と微生物と星々が混沌とした優しさの中で生活し日々の暮らしに感謝をする、心が洗われるような映画でした。

樋口英明講演会では、はじめに大谷翔平が二桁勝利、二桁本塁打の偉業を成し遂げたことに触れ、「大谷翔平は先入観をもたなかった、先入観が可能を不可能にさせる」と話されました。

原発の裁判も一緒に、「原子力規制委員会の規制基準をクリアしているから大丈夫だろう」といった思い込みがあることで、原発の真の危険性を判断できていないとおっしゃいました。ロシアによるウクライナ侵攻からもわかる通り、原発を止められれば抵抗できません。

原発は自国に向けられた核兵器なのです。今すぐこの危険すぎる原発を廃炉にし、安心できる暮らしを手に入れたらいいと感じました。

青森県は共働きの家庭が多いのにも関わらず弘前市の相対的貧困は7人に1人と多いことを知り驚きました。みらいねっと弘前ではそんな家庭のサポートとして食事提供のほかに学習支援や農業体験を通しての食育活動など幅広く行っており困っている人を社会から孤立させない環境づくりをしていることを今回の講演で学びました。

また、ファルマ弘前薬局でも設置しているフードロス事業はフードロス問題の解消につながるだけではなく子ども食堂や地域の福祉団体、施設、食事を必要としている方に食品をお届けできる仕組みになっており私たちでも簡単に参加できるので地域を支える一員として自宅で眠っ

ている食品を提供し微力ながら貢献したいと思いました。



ファルマ弘前薬局の会場の様子

誰ひとり孤立させない環境づくりを

ファルマ弘前薬局 薬剤師 小田桐 由衣

医療材料学習会

黒石薬局 津川 なつみ

10月19日(水)OTC委員会主催の医療材料等学習会が開催されました。前半はファルマ弘前薬局の葛西副薬局長による経営栄養に使用する医療材料等について、後半はファルマツ谷薬局の西沢主任による健康サポート薬局一般用医薬品の販売の流れ等についてのお話でした。

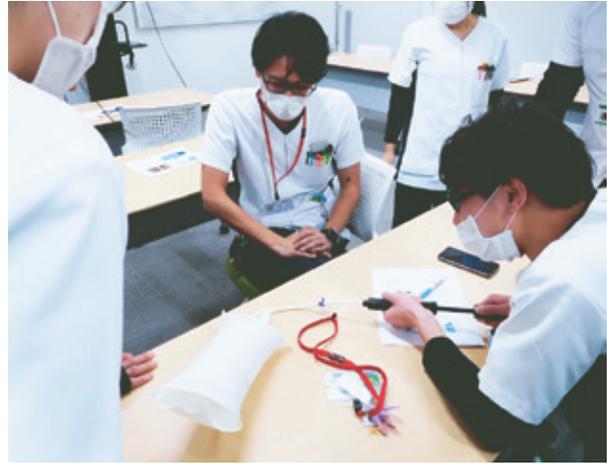
経営栄養に使用する商品だとわかっていても、実際どのように使われているのか、どのタイプを選択すべきなのかまでは理解できていなかったもので、とても勉強になりました。

健康サポート薬局一般用医薬品の販売に関しては、同一ブランドの商品でも配合が異なる商品があるため商品の裏面をき

りと確認し、患者様の症状や背景などチェックリストを元にしっかりと聞き取ることの重要性を改めて理解しました。

最後に各店舗のOTC陳列のスライドを見られたのが良かったです。

どの店舗も工夫をされていて真似をしたい部分も見え、定期的



学習会終了後、実際の医療材料で体験している様子

に各店舗の陳列を見て参考にしたいと思いました。

写真紹介 初めての研修



参加者の前で堂々と話す三上さん(右)

10月25日(火)浪岡中央公民館にて「県連事務基礎研修」にファルマ弘前薬局の三上心乃音さんが参加しました。今年度入職した事務職員が集まり、ビジネスマナーや接遇研修を受け、先輩職員の話をお聞き、グループディスカッションをして交流を深めました。最後にどのような事務職員になりたいかを考え、1年後の自分への手紙を書きました。

ファルマ弘前薬局での研修を終えて

岩手保健企画 永坂 祥大

ファルマ弘前薬局で約1ヶ月間の研修を受けさせていただきました。中堅研修ということもあり管理業務や薬局経営、薬剤師の在り方など多岐に渡る講義をしていただき、自分の中の薬剤師像が明確になりました。

この研修の中で私が何より驚いたのが職員の皆さんのバイタリテイ溢れる行動力と精神力です。忙しい中でも工夫をし「NO」ではなく「まずやってみる」を徹底しているように感じました。

薬剤師5年目。心のどこかで現状を保つのがやっとなだと思ってしまう部分がありました。しかし、今回の研修



相馬薬局長の話真剣に聴く永坂さん(左)

正職員登用



ファルマ弘前薬局 三上 心乃音

10月1日より正職事務として採用になりました。三上心乃音です。2021年12月に臨時職員でファルマに入職し、調剤助手として働いていました。正職事務では、保険の種類や算定の仕方、正しい電話応対など今まであまり知ることのなかったことを日々学ばせていただいております。今後は、受付・会計、その他多くの業務を覚えていくことにわくわくする気持ちと、やっていけるのだろうかという不安な気持ちも少しあります。先輩方にご指導いただけますながら民医連職員として患者様のささいな一言も聞き逃さず、寄り添える事務職員になりたいです。

新入職員紹介



居宅介護支援事業所ファルマ 長谷川 禎子

ケアマネージャーとして入職しました。長谷川禎子です。年齢がいつてからの再就職に自分でもびっくりしています。前職場は津軽保健生協で看護師兼務でケアマネ業務していた時期がありました。ここへの就

職は〇〇さんから声を掛けられ(これを縁というのでしよう)1か月くらい悩みました。今の日本の現実自分の現実を考えた、仕事をあるがよい生活のためでもあるが仕事をすることが社会貢献↓今までの専門職の知識を生かしたいということと就職希望しました。ホントは仕事は週3〜4回、他は趣味活動、諸活動に時間を使いたいと思っています。世の中がそういう文化的発展の方向に進めばいいのになあと思いつつ、仕事をしているこの頃です。



実務実習生の天内さん

黒石薬局実務実習を通して学んだこと

青森大学 天内 百合香

服薬指導や往診同行、PCAポンプの充填の仕方(作り方)の見学、電話でのフォローアップ、講演会での講師など、様々なことを経験させていただきました。

初日に服薬指導をした際は緊張してうまく出来ませんでした。回数を重ねるにつれ患者様とのコミュニケーションが



真剣な表情で散薬を計っている様子

16才のわたし

ファルマ浪岡薬局 主任 三浦 明美

原稿を書くにあたって、アルバムから写真を探したものの、今のデジタルの時代と違い、気軽に写真を撮ることもなく、なかなか写真がありません。数少ない中から、この一枚を選びました。

高1の修学旅行で奈良公園へ行った時のものです。40数年前になりますが、当時の修学旅行といえば、定番の京都・奈良方面でした。修学旅行といっても、事前学習なんかはなく、ほとんど観光気分で行った気がします。さすがにいろいろな神社・仏閣を見ているうちに、歴史を感じるようになりましたが、それも旅行しているのと、あまり変わらないように思います。

さて、なんとか選んだこの写真の奈良公園ですが、特にここに思い入れがあるわけではなく、鹿が好きなのでもありません。取り立てて何かエピソードがあるわけでもありません。この修学旅行中のこともほとんど忘れています。こんなこともあったなど、写真を見て思い出している次第です。



鹿とたわむれる高校生の頃の三浦主任

写真紹介

薬とサプリメント

10月31日(月)津軽保健生協にて津軽保健生協共同組織の健康づくり委員会主催で出前講座が開催されました。ファルマ弘前薬局の成田薬剤師が「サプリメントと健康食品」について講義しました。10人の参加者は、「とてもわかりやすく話をしてください、勉強になった」などの感想がありました。



参加者の前で話を成田薬剤師

戦争反対!

10月29日(土)弘前駅前りんご広場で憲法9条守れ、戦争法廃止!集会とパレードが開催されました。肌寒く秋めいてきた中、ファルマからは5名が参加し、ロシアのウクライナ侵略が続き戦争の終わりや原発攻撃や核兵器による威嚇反対などを訴えました。



アピールしながらパレード中!